

株式会社レスターホールディングス

2023年3月期
決算説明会

2023年5月30日



本日のアジェンダ

1. 2023年3月期 決算概況 常務執行役員 二島 進
2. 経営戦略説明
 - ① 2023年度の重点施策 代表取締役 朝香友治
 - ② デバイス事業の取り組み 副社長執行役員 山口秀哉
(レスターエレクトロニクス 社長)
3. 質疑応答

2023年3月期 決算概況 連結業績ハイライト



2023年度 連結業績

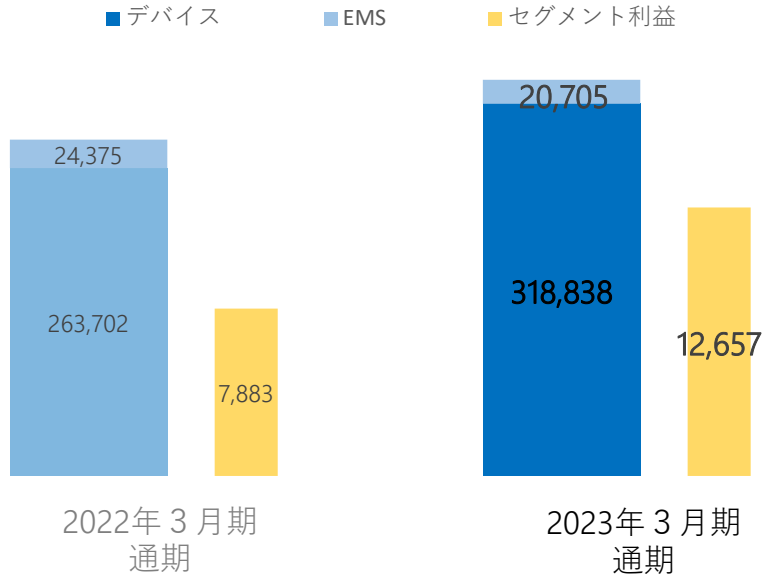
単位：百万円	2022年3月期 通期		2023年3月期 通期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	399,590	—	487,129	—	87,538	21.9%
売上総利益	30,183	7.6%	40,484	8.3%	10,301	34.1%
販売管理費	22,595	5.7%	26,061	5.3%	3,466	15.3%
営業利益	7,588	1.9%	14,423	3.0%	6,834	90.1%
経常利益	6,711	1.7%	12,043	2.5%	5,332	79.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,957	1.5%	7,085	1.5%	1,127	18.9%



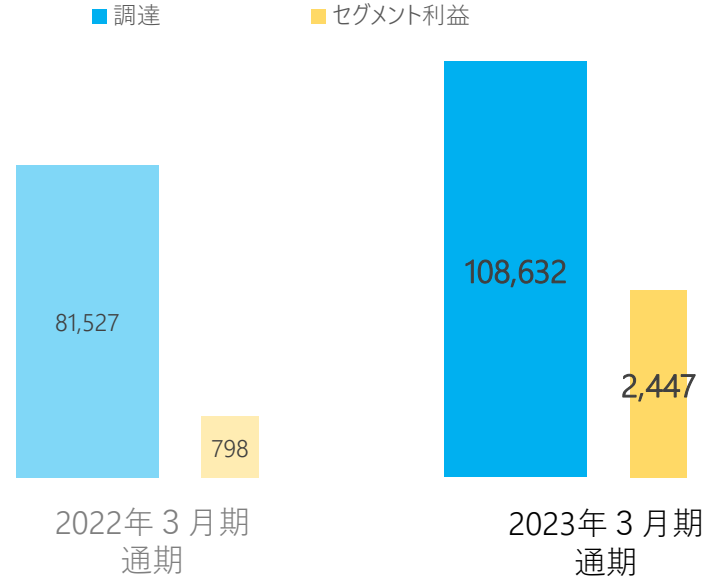
各セグメントの状況①

半導体及び電子部品事業

(単位：百万円)



調達事業

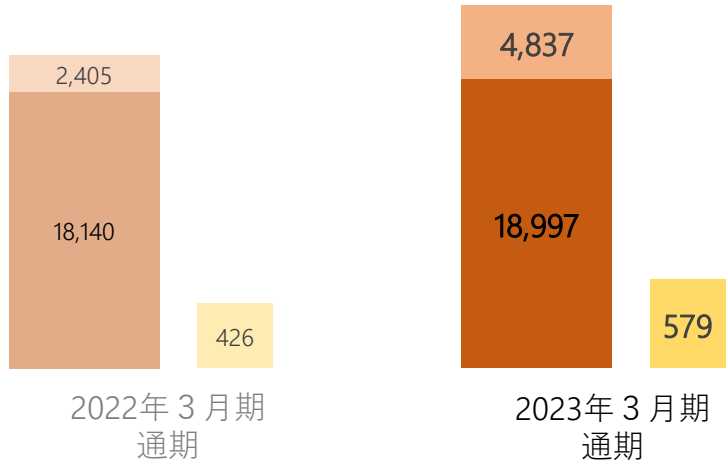


各セグメントの状況②

電子機器事業

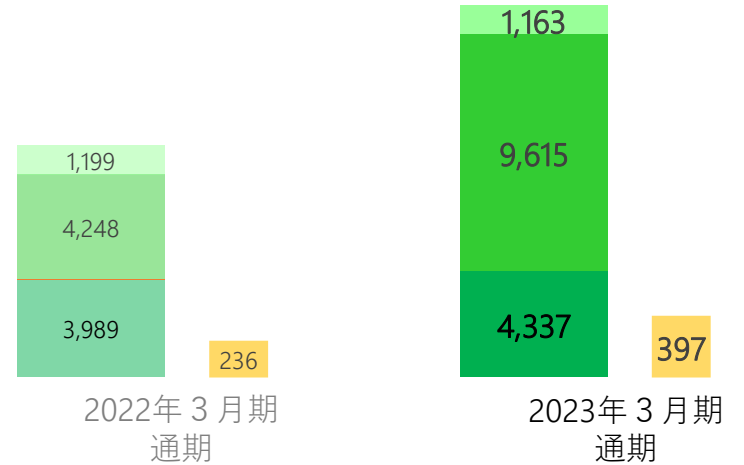
(単位：百万円)

■ 電子機器 ■ システム機器 ■ セグメント利益



環境エネルギー事業

■ エネルギー ■ 新電力 ■ 植物工場 ■ セグメント利益



連結貸借対照表

増収に伴う売掛金、棚卸資産の増加、短期・長期借入金の増加等

(単位：百万円)

	2022年3月末	2023年3月末
資産の部		
流動資産	185,525	209,142
固定資産	56,432	58,611
資産合計	241,958	267,754
負債純資産の部		
流動負債	139,346	160,766
固定負債	20,954	21,892
純資産	81,657	85,095
負債純資産合計	241,958	267,754
自己資本比率	32.1%	30.2%



キャッシュフロー

(単位：百万円)

現金及び現金同等物の期首残高 33,438

■ 営業活動によるCF $\triangle 664$

> 主に税金等調整前当期純利益、減価償却費、棚卸資産、未払金の増加

■ 投資活動によるCF $\triangle 5,304$

> 主に有形固定資産の取得による支出、及び売却による収入、定期預金の預入による支出

■ 財務活動によるCF 3,713

> 主に短期借入金の純増加、長期借入金の収入と返済、配当金の支払

■ 換算差額等 800

現金及び現金同等物の期末残高 31,984

増配のお知らせ

期末配当：好業績に伴う増配

- ・配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	合計
前回配当予想 (2022年11月10日公表)	40円00銭	60円00銭	100円00銭
今回配当予想 (2023年5月12日公表)	40円00銭	<u>75円00銭</u>	<u>115円00銭</u>

詳細については、本日別途開示いたしました「2023年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、期末配当については資本剰余金を原資とします。純資産減少割合については現在計算中であり、剰余金の配当の決定の際に開示いたします。



2024年3月期通期見通し①

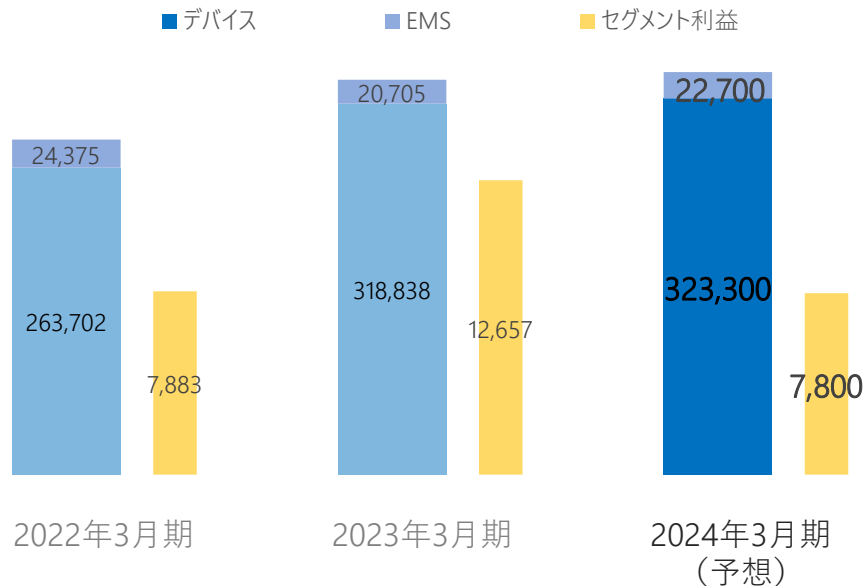
単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	前期比
	通期 金額	通期 金額	
売上高	487,129	500,000	2.6%
営業利益	14,423	10,000	△30.7%
経常利益	12,043	7,000	△41.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,085	7,000	△1.2%

■ 2024年3月期見通しポイント

- ・ 不透明感あるものの“半導体及び電子部品事業”及び“調達事業”は堅調に推移する見込み
- ・ “電子機器事業”と“環境エネルギー事業”は、市況回復に伴う増収見込み
- ・ 営業利益は為替影響など特殊要因を除いたため減益予想
- ・ なお、本社社屋売却における特別利益は通期見通しに反映済み

2024年3月期通期見通し②

■半導体及び電子部品事業



【2023年度重点施策】

- デバイス
 - E V・I o T・A I 関連分野の事業拡大
 - グローバル展開に向けた取り組み加速
- EMS
 - 生産ラインの合理化／集中と選択
 - 車載向けなど新規事業の拡大

事業概況

デバイス

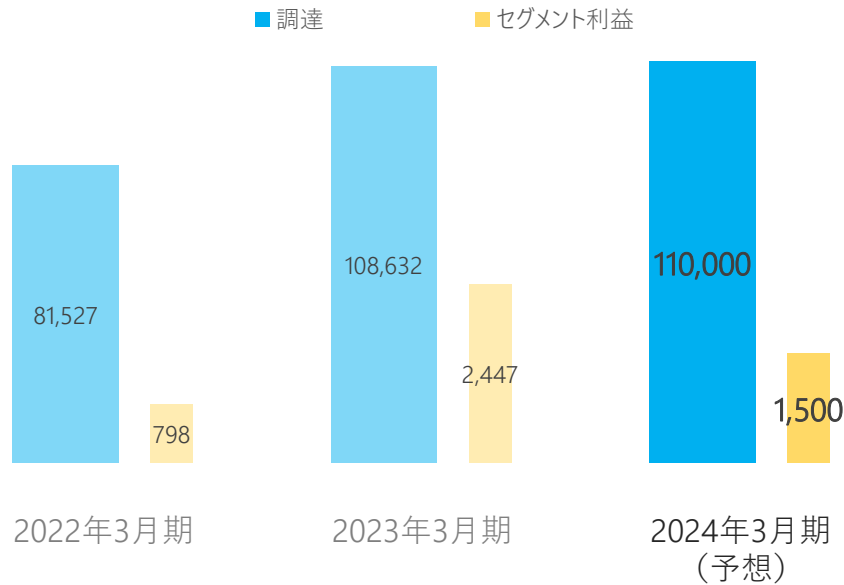
上期は市況動向を慎重に見込みながら
下期回復を予想

EMS

引き続きスマートフォン市況が弱含むもの
の車載関連製品による事業拡大図る

2024年3月期通期見通し③

■調達事業



【2023年度重点施策】

- S C Mを基盤とした新たなサービス・付加価値提供による事業拡大

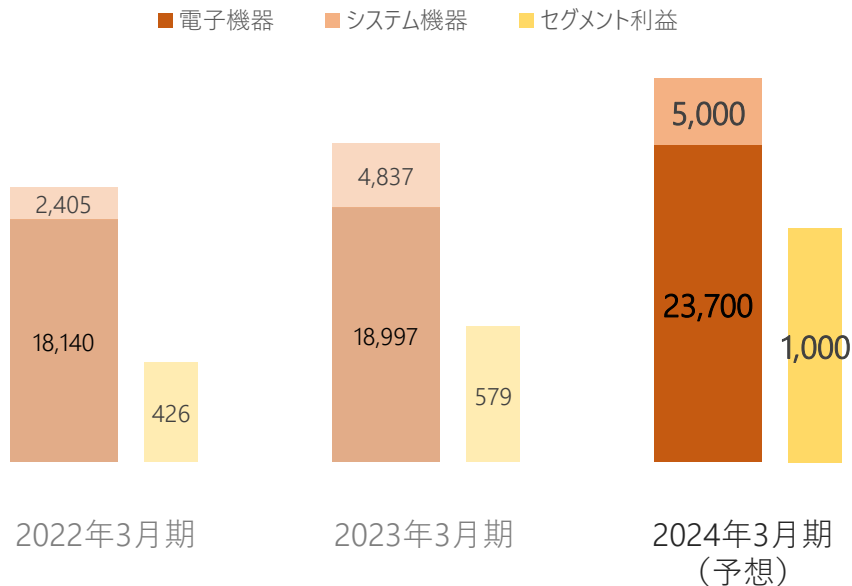
事業概況

調達

- 新規商材の取り扱いや新規顧客展開などによる事業拡大図る
- サプライチェーンマネジメントにおける顧客価値創出と付加価値拡大

2024年3月期通期見通し④

■ 電子機器事業



【2023年度重点施策】

- 電子機器
顧客ニーズの先取りと付加価値創出によるシェアアップ
- システム機器
製品モデルミックスの改善による収益性向上

事業概況

電子機器

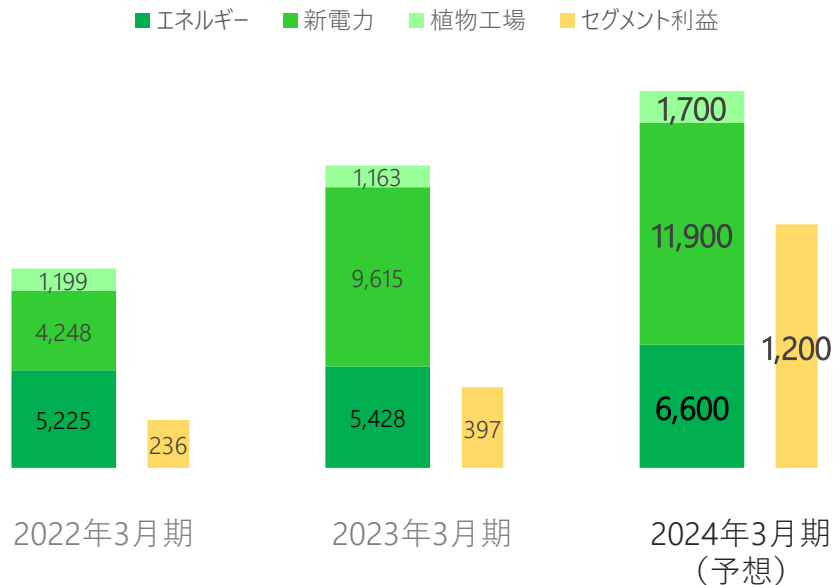
- 半導体市況回復に伴う商材確保が進むことによる増収
- オフィス移転などの需要増に伴う受注確保

システム機器

マイナンバー顔認証機器の特需剥落に対する既存商材と新たな商材展開

2024年3月期通期見通し⑤

■環境エネルギー事業



*エネルギー売上には新電力への売上も含む

【2023年度重点施策】

- エネルギー
 - 再エネ事業の継続的拡大
 - 新たな事業領域の具現化
- 新電力
 - 地産地消型の電力供給事業の推進・拡大
- 植物工場
 - 生産効率アップと利益を伴う売上の拡大

事業概況

エネルギー	引き続き太陽光発電の増設など計画的な事業拡大を図る
新電力	電力の市場価格への継続的な対応と電力の地産地消など新たな取り組み推進
植物工場	新製品開発と量産化対応による収益改善

株主還元方針

連結業績予想に基づき財務の安定性を重視

- ・配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2024年3月期予想	55円00銭	60円00銭	115円00銭



経営戦略説明

① 2023年度の重点施策

2023年度重点施策

環境変化の激しい中、今後の更なる成長を目指し経営基盤強化

～「エレクトロニクスの情報プラットフォーム」を一層追求していくための2023年度重点施策～

重点施策

事業再編

経営体制刷新

首都圏
拠点集約

ROIC経営への
シフト

グローバル事業
強化

成長への経営基盤強化

純粋持株会社から事業会社へ移行

2024年4月1日

株式会社レスターホールディングス → 株式会社レスター



レスターグループ 経営理念

ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

ビジョン

あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーム」を目指します
世界・社会貢献・共創と革新

バリュー

- ・多様な考えを受け入れ共創を通じて新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて革新的な発想と情熱で挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ持続可能な社会の発展に貢献します

事業会社への移行背景（現状課題）

レスターホールディングス

経営管理

（半導体・デバイスなど）

レスターエレクトロニクス

管理 営業 技術 サービス

付加価値創出
個別事業拡大

（ソリューション・サービス）

レスターコミュニケーションズ

バイテックエネスタ

管理 営業 技術 サービス

付加価値創出
個別事業拡大

個別最適
融合・再配置
効率アップ必要

課題

各事業の強みを活かし、機能を融合することで更なる成長を目指し、グローバルな「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」に向けた変革が必要

事業会社への移行：目指すべき姿

果たすべき
社会的役割

多様な顧客・多様な事業を強みとし
情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供

機能・資産
融合

管理

営業

顧客基盤

技術開発

サービス開発
提供

新たな
成長基盤

更なる競争力強化

経営の高度化

事業運営効率化

目指すべき姿

グローバルな「エレクトロニクスの情報プラットフォーム」へ



首都圏拠点集約：グループシナジー加速



東京都港区港南二丁目 10 番 9 号

2023年 2 月 第 1 弾 首都圏事業会社移転
2023年上期予定 第 2 弾 本社移転

首都圏拠点集約

- レスターらしい働き方改革、原則出社に切り替え
- 一層のコミュニケーション活性化、共感・共有によるスピード加速
- 拠点集約によるリソース最適化
- スマートビルへの取り組み（ビジネスモデル創出）
- 脱炭素に配慮したよりサステナブルな事業環境

ROIC経営へシフト



経営の効率化、投資家との対話促進による企業価値向上へ

経営戦略説明

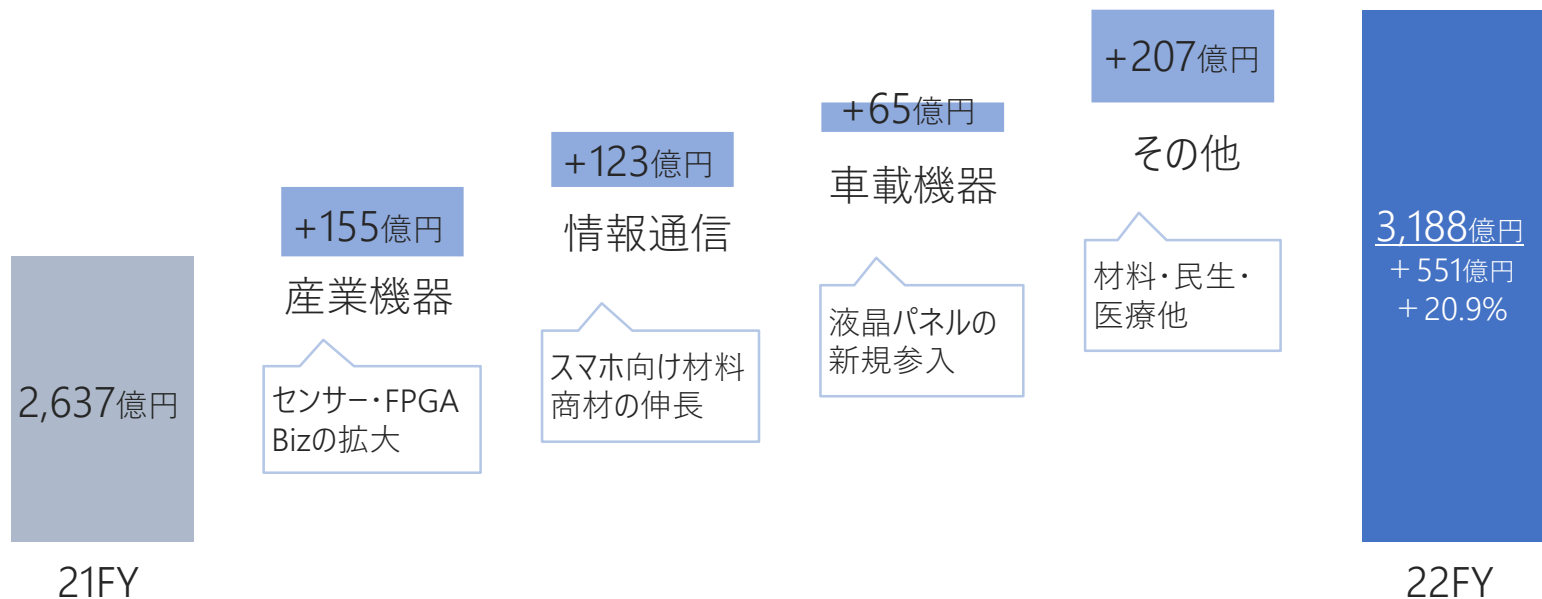
② デバイス事業の取り組み

経営戦略説明

② デバイス事業の取り組み 22年度の振り返り

23年3月期実績：カテゴリ別売上増分解

産業機器・情報通信・車載機器がけん引

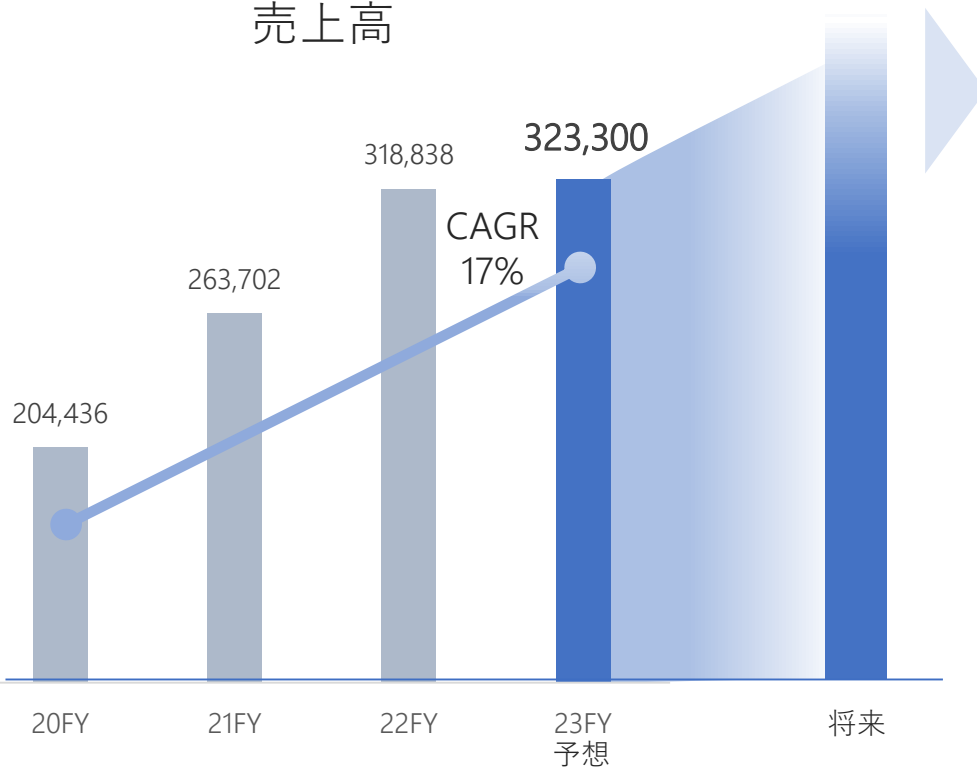


経営戦略説明

② デバイス事業の取り組み 2023年度重点施策

デバイス：業績推移と成長への施策

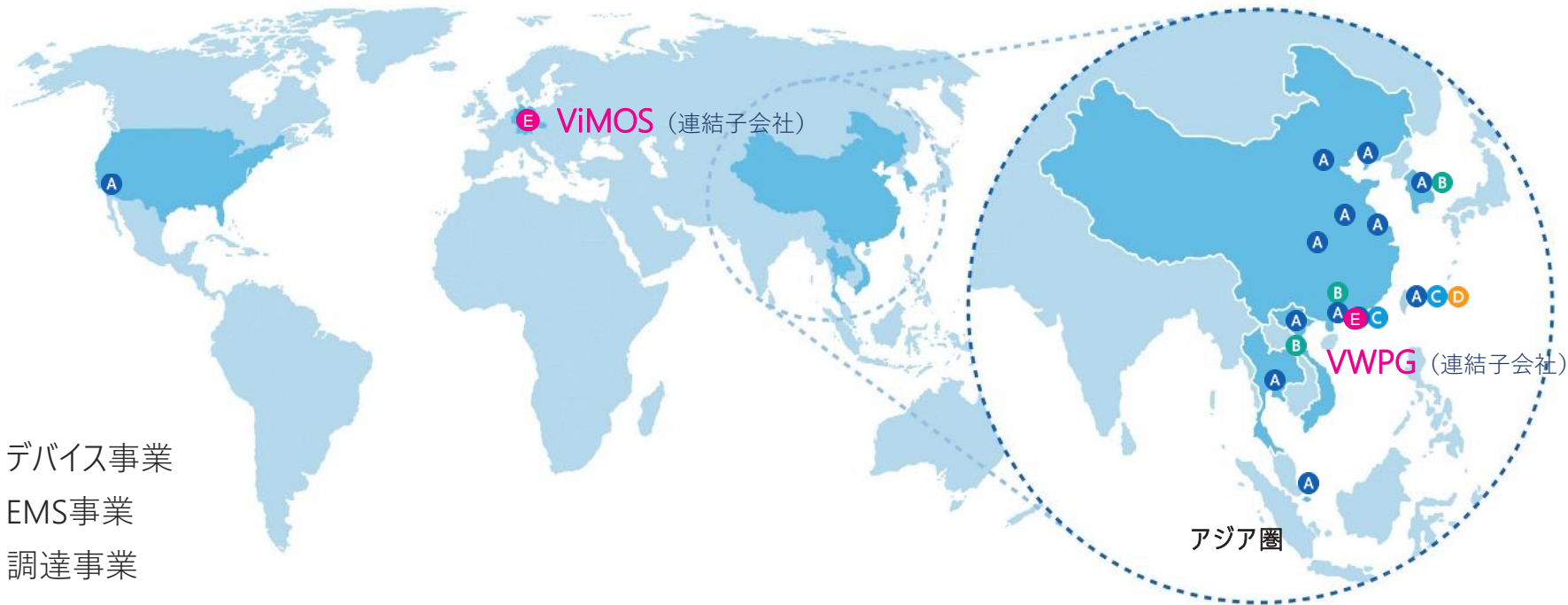
売上高



成長への施策

- ① グローバル戦略：海外パートナーとの協創
- ② 車載市場拡販：センシング/EV向け拡販
- ③ 産機市場拡販：ビジョンソリューション x FPGA
- ④ 新規ソリューション：コンサル・リカーリングビジネス

①グローバル戦略



- A デバイス事業
- B EMS事業
- C 調達事業
- D エネルギー事業
- E 海外パートナー企業との合併会社

- 海外のパートナー企業とも連携することで海外展開を促進
 - ・VWPG : グローバル半導体商社WPGグループとの合併会社
 - ・ViMOS : FRAMOS(ドイツ)、WPGグループとの3社での合併会社



①グローバル戦略

A デバイス事業

- 海外新規ローカルビジネスの拡大
- 海外商材(半導体・ディスプレイ・バッテリー等)開拓及び日系顧客への販売拡大

B EMS事業

- CUTECHが韓国取引所に上場
- 韓国、中国、ベトナムに自社工場所有
- *IATF16949取得済、車載領域拡大中

*IATF16949：自動車産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格

C 調達事業

- 香港、台湾に拠点を構え、調達SCMプラットフォームとして機能
- 顧客ニーズに適応した商物流スキームを構築しSCMビジネスを拡大

D エネルギー事業

- 台湾で81カ所、34MWの太陽光発電ビジネスを展開
- 当社グループの顧客基盤を活用した事業展開

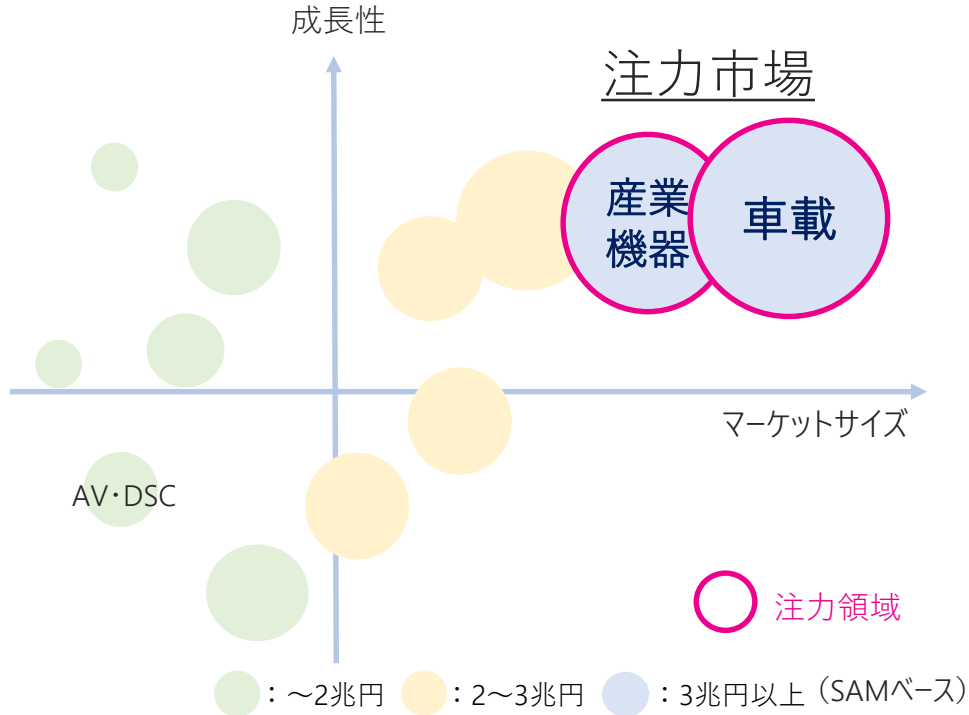
E 海外合併企業 アジア圏

- VWPG：パートナーと連携しグローバルな調達力を発揮、特需ビジネスにも貢献
- ViMOS：欧州車載系Tier1へセンシング商材提供



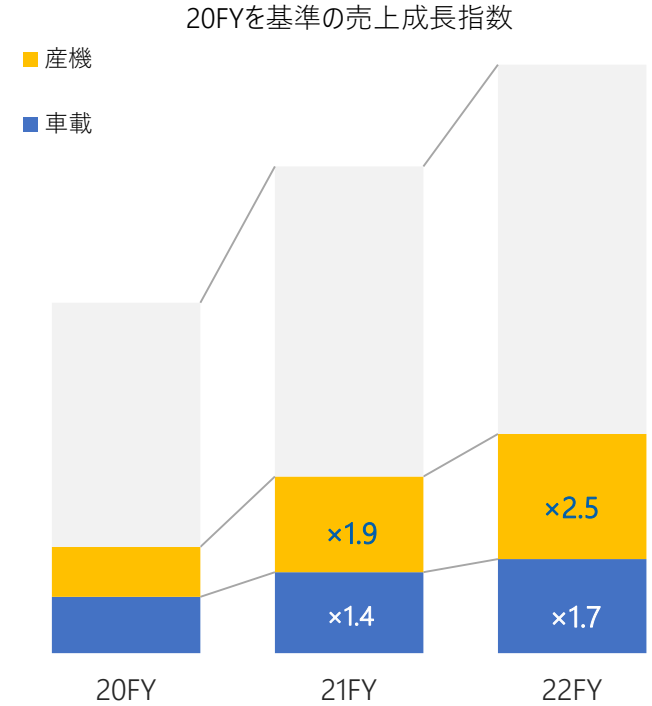
車載・産業機器領域

*AV・DSC→車載・産業機器へシフト



*AV・DSC : Audio Visual・Digital Still Camera

車載・産業機器の成長



②車載市場拡販

センシングに加えEV特有商材への取り組み

EV化によって新たに生まれたアプリケーションに半導体の新規需要が生まれる
～パワーデバイス・モーターコントローラーなど既存ラインカードの強みを活かしビジネス拡大へ～



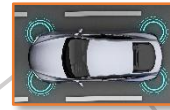
インテリジェントリアビューモニターシステム



ドライバーモニタリングシステム



カメラモニタリングシステム



ソナーセンサー



リアビューカメラ



サラウンドビューカメラ



サーマルマネジメントシステム



モーター/インバーター



リチウムイオンバッテリー



On Board Charger (充電器)



EVスタンド

③産業機器市場拡販

ビジョンソリューション導入スキーム

■ レスターグループ一括対応（最適なセンサー&カメラ・システム選定～導入～保守メンテ）



■ 実例

製造装置

- ・位置決め
- ・キズ・打痕検査
- ・寸法測定



食品検査

- ・内容物漏れの検出
- ・成形不良
- ・異物検出
- ・PKG不良



物流

- ・パレタイズ
- ・デパレタイズ
- ・ピッキング
- ・在庫スペース



建機の安全安心

- ・エリア侵入検知
- ・転倒検知
- ・アラウンドビュー



店舗・商業施設

- ・施設内の人数カウント
- ・属性検知
- ・行動分析
- ・商品棚監視



スマート化（工場・オフィス他）

- ・アナログメーター
- ・空室・空調
- ・車番・車室



③産業機器市場拡販

レスターグループのビジョンソリューション

エッジAIソリューション

(実用例：商業施設内の人数カウント)

メリット：①応答性②機密性③環境貢献

エッジAIカメラ使用シーン事例



属性検知



行動分析



在庫検知



数量カウント



館内人数 3 人

出口

入口



現在の館内人数

3名

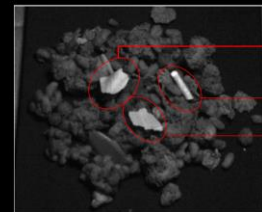
マシンビジョン

(食品の異物検知)

近赤外線(SWIR)を用いたSensing

可視光

1550nm



木の葉

小枝

段ボール

シリアルの中に混在する
木の葉、小枝、段ボールを判別

④新規ソリューション (1)

対話型キャラクターエージェント「CHELULU」

大型ショッピングモールに採用

導入のメリット

- ①利用者情報の分析・ダッシュボード化
- ②オペレータの作業時間削減 (月約200時間)
- ③導入企業へのマーケティング情報の提供



情報分析ダッシュボード



大型商業施設、鉄道施設、空港、企業受付、病院等にも拡販中



④新規ソリューション (2)

DXとIoTを活用した自治体へのヘルスケア コンサルティング

コンサルティング開始時

保健師の訪問指導

準備・結果報告の工数過多

(手書き・役所設置の限られたPC使用)



提供サービス内容

保健師の作業負担削減

保健師支援ツール提供

クラウド経由でアクセス可能

タブレット入力



保健師
支援ツール

その他

タブレットと顔認証マイナンバーカードリーダーにより
公民館、かかりつけ医でのライフログ入力可能

健康管理
アプリ



健康管理
アプリ

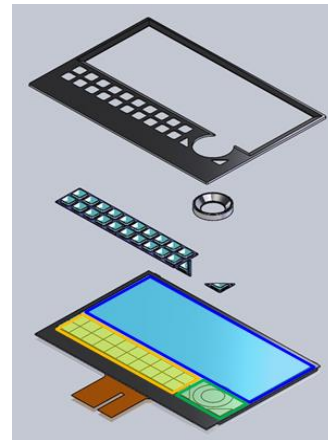
④新規ソリューション (3)

新たなHMI提案：スイッチ on 静電容量式タッチパネル（コンセプトイン活動/特許取得）

タッチパネル（静電容量方式）に物理ボタンなどを配置可能な静電入力デバイスを開発

導入のメリット

- ① コスト削減：低コストで物理的ボタンを設置
- ② デザイン性の向上：自由なレイアウトが設計可能
- ③ 先進的な操作性：物理ボタンの使用で操作時間が約 4 分の 1



特許技術イメージ

車載、産機やエンターテインメント業界などでポテンシャル



<お問い合わせ先>

レスターホールディングス 広報・IR部

Mail to : irpr@restargp.com

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

